

# 2002-3  
2002.11.28

共 同 发 表 文  
共 同 発 表 文  
공 동 발 표 문

第一届东北亚地区标准合作研讨会民官代表者会议  
第1回 東北亞 標準協力 セミナー 民・官代表者會議  
제1회 동북아 표준협력 세미나 민·관 대표자 회의

大韩民国 汉城 / 2002年 11月 28日

大韓民國 ソウル / 2002年11月28日

대한민국 서울 / 2002년 11월 28일

## 共同発表文

### 第1回 東北亜 標準協力 セミナー 民・官代表者会議

( 大韓民国 ソウル / 2002年11月28日 )

2002年11月28日、大韓民国のソウルで、中華人民共和国、日本国、大韓民国の標準と認証に關聯した政府と民間の機關が集まり、『21世紀の東北亜の標準協力の課題と発展方向』という主題をもって『第1回 東北亜 標準協力 セミナー』を開催することになった。

セミナーは第1部と第2部に構成された。第1部は主題発表の順番で、3国から5名の代表が協力課題と発展方向に対し発表した。第2部は『民・官代表者 会議』であり、第1部で発表された協力課題を中心に、3国のセミナー参加者の代表が集まり協議をすることになっていた。

こういう『民・官代表者 会議』で3国の代表はつぎの事に対して合意した。

1. 3国は 国家別に1名以上の専門家を指定して、ISO/IECの著作権政策に關する東北亜 Working Groupを設立する。設立の為の細部事項は参加する機關の間での協議を通じ決定する事にし、日本規格協会は設立する時期まで臨時幹事を受けることにする。
2. 3国は ISO/IEC活動参与 マニュアルを製作する為の 東北亜 Working Groupを設立する。 設立の為の細部事項は参加する機關の間での協議を通じ決定する事にし、日本規格協会は設立する時期まで臨時幹事を受けることにする。
3. 3国は 東北亜地域の定例標準対話体(Northeast Asia Standards Dialogue)を設立する為に、優先的に3国の民間標準化機關は定例会議を開催する。 国家

別の協議窓口は、中国は中国標準化協会、日本は日本規格協会、韓国は韓国標準協会にすると合意する。韓国標準協会は推進体系が構築できるまで臨時的に幹事業務を受けることにする。

4. 3国は 東北亜地域の産業標準化と関聯研究開発の需要をして、その結果を定例会議で論議することにする
5. 3国は 各国の標準教育プログラムを公開することにし、向後共同開発できる協議が始まる。
6. 3国は 東北亜地域の標準発展の為の論文賞を制定する為の共同協議が始まる。
7. 次期会議は 2003年に中国標準化協會の主催で中国の北京で開催する。